

株式会社村田製作所（仮称）守山新事業所拠点整備事業に係る
環境影響評価準備書に対する審査会意見（案）

株式会社村田製作所（仮称）守山新事業所拠点整備事業に係る環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）に対する環境の保全の見地からの意見については、次のとおりである。

本意見に対する検討の経緯および内容については、環境影響評価書（以下「評価書」という。）に適切に記載すること。

1 全般的事項

（1）評価書の作成に当たっては、準備書における誤植および不整合のある箇所を修正すること。また、論理に飛躍の無いよう丁寧な記述に努めるとともに、できる限り平易な表現を用い、専門用語については必要に応じて注釈を加えることなどにより、住民にとってより分かりやすい内容とすること。

（2）本事業は、J R 守山駅近傍にある宿泊施設等の跡地において高層建築物を新築し、研究開発拠点とするものである。事業予定地の周辺は市街地であり、マンション、戸建て住宅、店舗等が立地している。

このため、事業、周辺住民の生活環境に影響を及ぼさないよう環境対策を講じるとともに、工事実施時の騒音測定結果等を随時提供するなど、周辺住民等に対して丁寧な説明に努めること。

（3）事業者は、地球環境に配慮した建物を目指し、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入、廃棄物の発生抑制およびリサイクル等に取り組むほか、建築環境総合性能評価システム（CASBEE）等の認証取得を検討している。

このため、こうした環境負荷削減に関する取り組みを可能な限り具体的に示すこと。

また、評価書手続き以降に具体化する取り組みについても、事業者のホームページ等に掲載するなど積極的な公表に努めること。

（4）本事業に係る計画建物は、周辺の建築物に比べて高層であることから、駅前の新たな景観形成に資する一方、湖南地域を代表する景観資源である三上山への眺望に影響のある地点が認められる。

このため、建物形状や色彩について配慮し、景観への影響を極力低減すること。

37 2 個別的事項

38 (1) 大気質

39 工事実施時の重機の稼働による影響と工事用車両の走行による影響が個別に予
40 測評価されているが、実際は両方の作業が同時に行われるため、それらの複合的な
41 影響についても予測評価すること。

42

43 (2) 電波障害

44 地上デジタル放送への影響が予測評価され、環境保全措置が講じられる予定であ
45 るが、衛星放送への影響も生じる可能性があるため、予測評価し、必要に応じて環
46 境保全措置を講ずること。

47

48 (3) 水象・水質

49 工事実施時に発生する濁水対策や、地下工事実施時に地下水位を低下させるため
50 に設置される揚水井戸の配置等について、具体的な内容が記載されていないため、
51 関係する情報を示すこと。

52 また、地下水の揚水が行われる期間は、大量の地下水が河川に放流されるため、
53 放流先河川の水温や水質の変化について考察すること。また、地下水位の低下に伴
54 う周辺河川の水位変化の可能性についても考察し、それらの結果に応じて水質の予
55 測評価に関する記述を見直すこと。

56 なお、記述の見直しに当たっては、濁水の処理等を行った後の雨水及び工事排水
57 も河川に放流されることも考慮すること。

58

59 (4) 動物

60 鳥類の衝突(バードストライク)対策として庇の設置等の対策が示されているが、
61 その内容や効果に関する説明が不十分であるため、該当する記述を見直すこと。

62

63 (5) 景観

64 計画段階配慮書および環境影響評価方法書に対する知事意見を踏まえ、適切な対
65 応が行われてきたが、三上山への眺望景観への影響が認められる「えんまどう公園」
66 における予測評価結果については、他の地点と比べ説明が不十分であるため、記述
67 を見直すこと。

68 また、事業予定地東側からの山並みへの眺望景観について、計画建物が及ぼす影
69 響を考察し、必要に応じて記述を追加すること。

株式会社村田製作所(仮称)守山新事業所拠点整備事業に係る環境影響評価準備書に対する意見

審査会意見(案)	審査会 (第1回)	審査会 (第2回)	専門家	関係市	住民	滋賀県 関係課
株式会社村田製作所(仮称)守山新事業所拠点整備事業に係る環境影響評価準備書(以下「準備書」という。)に対する環境の保全の見地からの意見については、次のとおりである。 本意見に対する検討の経緯および内容については、環境影響評価書(以下「評価書」という。)に適切に記載すること。						
1 全般的事項						
(1) 評価書の作成に当たっては、準備書における誤植および不整合のある箇所を修正すること。また、論理に飛躍の無いよう丁寧な記述に努めるとともに、できる限り平易な表現を用い、専門用語については必要に応じて注釈を加えることなどにより、住民にとってより分かりやすい内容とすること。	1,3,4,5,6 7,8,18,2 0,21,29					
(2) 本事業は、JR守山駅近傍にある宿泊施設等の跡地において高層建築物を新築し、研究開発拠点とするものである。事業予定地の周辺は市街地であり、マンション、戸建て住宅、店舗等が立地している。 このため、事業、周辺住民の生活環境に影響を及ぼさないよう環境対策を講じるとともに、工事実施時の騒音測定結果等を随時提供するなど、周辺住民等に対して丁寧な説明に努めること。	28	5				
(3) 事業者は、地球環境に配慮した建物を目指し、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入、廃棄物の発生抑制およびリサイクル等に取り組むほか、建築環境総合性能評価システム(CASBEE)等の認証取得を検討している。 このため、こうした環境負荷削減に関する取り組みを可能な限り具体的に示すこと。 また、評価書手続き以降に具体化する取り組みについても、事業者のホームページ等に掲載するなど積極的な公表に努めること。	19,22,23 .24					
(4) 本事業に係る計画建物は、周辺の建築物に比べて高層であることから、駅前の新たな景観形成に資する一方、湖南地域を代表する景観資源である三上山への眺望に影響のある地点が認められる。 このため、建物形状や色彩について配慮し、景観への影響を極力低減すること。	17					
2 個別的事項						
(1) 大気質						
工事実施時の重機の稼働による影響と工事用車両の走行による影響が個別に予測評価されているが、実際は両方の作業が同時に行われるため、それらの複合的な影響についても予測評価すること。	2					
(2) 電波障害						
地上デジタル放送への影響が予測評価され、環境保全措置が講じられる予定であるが、衛星放送への影響も生じる可能性があるため、予測評価し、必要に応じて環境保全措置を講ずること。			1		2	
(3) 水象・水質						
工事実施時に発生する濁水対策や、地下工事実施時に地下水位を低下させるために設置される揚水井戸の配置等について、具体的な内容が記載されていないため、関係する情報を示すこと。	8,11	1,2				
また、地下水の揚水が行われる期間は、大量の地下水が河川に放流されるため、放流先河川の水温や水質の変化について考察すること。また、地下水位の低下に伴う周辺河川の水位変化の可能性についても考察し、それらの結果に応じて水質の予測評価に関する記述を見直すこと。 なお、記述の見直しに当たっては、濁水の処理等を行った後の雨水及び工事排水も河川に放流されることも考慮すること。	9,10,11, 12,13,14					
(4) 動物						
鳥類の衝突(バードストライク)対策として庇の設置等の対策が示されているが、その内容や効果に関する説明が不十分であるため、該当する記述を見直すこと。	27					
(5) 景観						
計画段階配慮書および環境影響評価方法書に対する知事意見を踏まえ、適切な対応が行われてきたが、三上山への眺望景観への影響が認められる「えんまどう公園」における予測評価結果については、他の地点と比べ説明が不十分であるため、記述を見直すこと。	17					
また、事業予定地東側からの山並みへの眺望景観について、計画建物が及ぼす影響を考察し、必要に応じて記述を追加すること。		4		1	1	